

しょうおんじ ことう  
松音寺の古塔

赤松1組 赤松自治会

市指定有形文化財（建造物）

平成4年3月1日指定

赤松寺は建久7年（1196）、播磨の人宇野新藤五郎が勧請したと伝えられる。

開山は「貞和二丙戌十二月二日 開山」（1346）と銘された貞和宝塔の塔身がある。また、総高111cmの竿部に「弘治三年十一月九日 当寺中興実宗和尚」（1557）の銘文のある、弘治無縫塔。

総高102cm、竿部に「天正三年二月八日 深雲座元禅師」（1575）の銘のある天正無縫塔がある。

松音寺は、天正期は島津軍との交戦期で天正14年（1586）に寺は灰燼に帰したが、まもなく再興された。



（入江 秀利）